

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	防災訓練が義務づけられた回数の実施となっている。近隣住民の協力体制が出来ていない。	職員の防災に対する意識を向上させ、防災訓練を通して、近隣の住民の協力を得る。	年間の避難訓練の回数を多くする。 地元の方達にも参加を回覧、ポスター等を利用し呼びかけ参加をお願いする。 推進会議を生かした呼びかけも試みる。	12ヶ月
2	13	施設内外の研修の成果が十分でない。	施設内外の研修が十分に実施され、結果が共有され実践が生かせる事が出来る。	研修担当による年間計画での研修の実施。 研修内容の全員の周知及び、全職員の研修の取り組み方を検討する。	12ヶ月
3	4	運営推進会議の取り組みが十分とはいえない。	ホームの発展や地域の方との交流を得る為、地域に開かれた事業所として取り組む。	参加メンバーの拡大。 認知症の理解の取り組み。 地域、家族の方達との意見交換。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。